ＪＡバンクとは

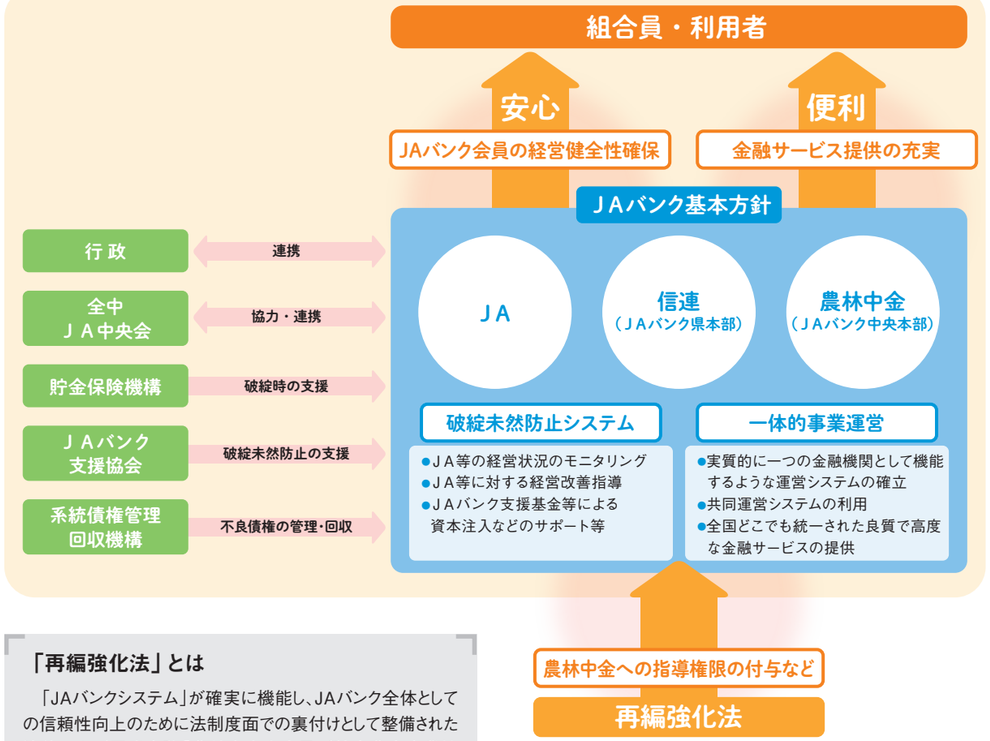
ＪＡバンクは全国に民間最大級の店舗網を展開しているＪＡバンク会員（ＪＡ・信連・農林中金）で構成するグループの名称です。

◉ＪＡバンクシステムの仕組み

全国のＪＡ、信連及び農林中金では、組合員・利用者のみなさまから一層信頼され利用される信用事業を確立するために「再編強化法」に基づき「ＪＡバンク基本方針」を策定しています。

この方針に基づき、ＪＡバンク会員（ＪＡ・信連・農林中金）が実質的にひとつの金融機関として機能する仕組みを「ＪＡバンクシステム」といいます。

「ＪＡバンクシステム」は、ＪＡバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットやきめ細かい顧客接点を生かした金融サービス提供の充実・強化をめざす「一体的事業運営」の二つの柱で成り立っています。



「再編強化法」とは

「JAバンクシステム」が確実に機能し、JAバンク全体としての信頼性向上のために法制度面での裏付けとして整備された法律です。（正式名称「農林中央金庫及び特定農水産業協同組合等による信用事業の再編及び強化に関する法律」）。

この法律で、農林中金は、基本方針（自主ルール）を定め、関係団体と連携しJAバンク会員に対し必要な指導を行うこととされています。

ＪＡバンク〈各種サービス〉

ＪＡバンクは、より身近で安心・便利な金融機関として、地域の皆さまにご利用いただけるよう、一層の丁寧できめ細やかな金融サービスの提供に日々努めています。組合員だけでなく、どなたでもご利用いただけます。

使って便利。
暮らしに役立つサービスいろいろ。
お客さまのお役に立てる各種サービスを
ご用意しています。

給与自動受取サービス

ＪＡバンクで給与をお受取りいただくと、全国どこでもお引き出しが便利です。

年金自動受取サービス

ＪＡバンクなら、全国どこでもお引き出しが便利です。年金のお受取りには、安心・便利なＪＡの総合口座をお勧めします。

自動支払サービス

公共料金、クレジット利用代金などの毎月のお支払いに便利です。

自動送金サービス

お子さまへの仕送りや家賃などの毎月のお振込みに便利です。

ＪＡネットバンク

パソコン・スマートフォンを使用して、残高照会・入出金明細の照会・振込・振替、定期貯金の預入、住宅ローンの一部繰上返済などができます。

法人ＪＡネットバンク

オフィスでパソコンを使用して、残高照会、入出金明細の照会、振込・振替、さらには伝送サービスによる総合振込、口座振替などができます。

ＪＡカード

国内・海外でのショッピング、お食事、公共料金のお支払いなど、いろいろな場面で便利にご利用いただけます。

ポイントサービス

お取引き状況に応じて、ゆうちょ銀行、他行、コンビニＡＴＭ入出金手数料がキャッシュバックされます。

ＪＡバンクアプリ

口座残高・入出金明細の確認がアプリで簡単に行え、ＪＡネットバンクへ手軽にアクセスできます。

ＪＡバンクアプリは
こちらのＱＲコードから
ご利用いただけます。

◉ＪＡバンクの「ＪＡバンク・セーフティーネット」

より安全な金融機関としての信頼を得るために、ＪＡバンクは「破綻未然防止システム」と「貯金保険制度」による「ＪＡバンク・セーフティネット」を構築し、皆さまの貯金を安全にお守りします。まず、公的制度である「貯金保険制度」。そして「ＪＡバンクシステム」のもとＪＡバンク全体で経営健全性を確保する取り組みである「破綻未然防止システム」。この仕組みによって、組合員・利用者の皆様により一層の「安心」をお届けします。

ＪＡバンク・セーフティネットの仕組み

破綻未然防止システム

破綻未然防止のための
ＪＡバンク独自の制度

- ＪＡバンク支援基金
- 愛知県ＪＡバンク支援制度

＋

貯金保険制度

貯金者等保護のための
国の公的な制度

「破綻未然防止システム」

ＪＡバンクの健全性を確保し、ＪＡ等の経営破綻を未然に防止するためのＪＡバンク独自の制度です。行政の基準よりもさらに厳しいＪＡバンク独自の自主ルール基準（自己資本比率等）を設定し、個々のＪＡの経営状況をチェック（モニタリング）します。

また、全国制度の「ＪＡバンク支援基金」と、県制度の「愛知県ＪＡバンク支援制度」の二つの制度が互いに連携し、万一の事態に至ることのないよう、早期・適切に経営健全性の向上のために、必要な支援（資本注入や資金援助等）を実施します。

貯金保険制度とは？

貯金保険制度とは、農水産業協同組合が貯金などの払戻しができなくなった場合などに、貯金者を保護し、また資金決済の確保を図ることによって、信用秩序の維持に資することを目的とする制度で、銀行、信金、信組、労金などが加盟する「預金保険制度」と同様の制度です。

破綻未然防止システムの特徴

ポイント１
経営状況のチェック（モニタリング）

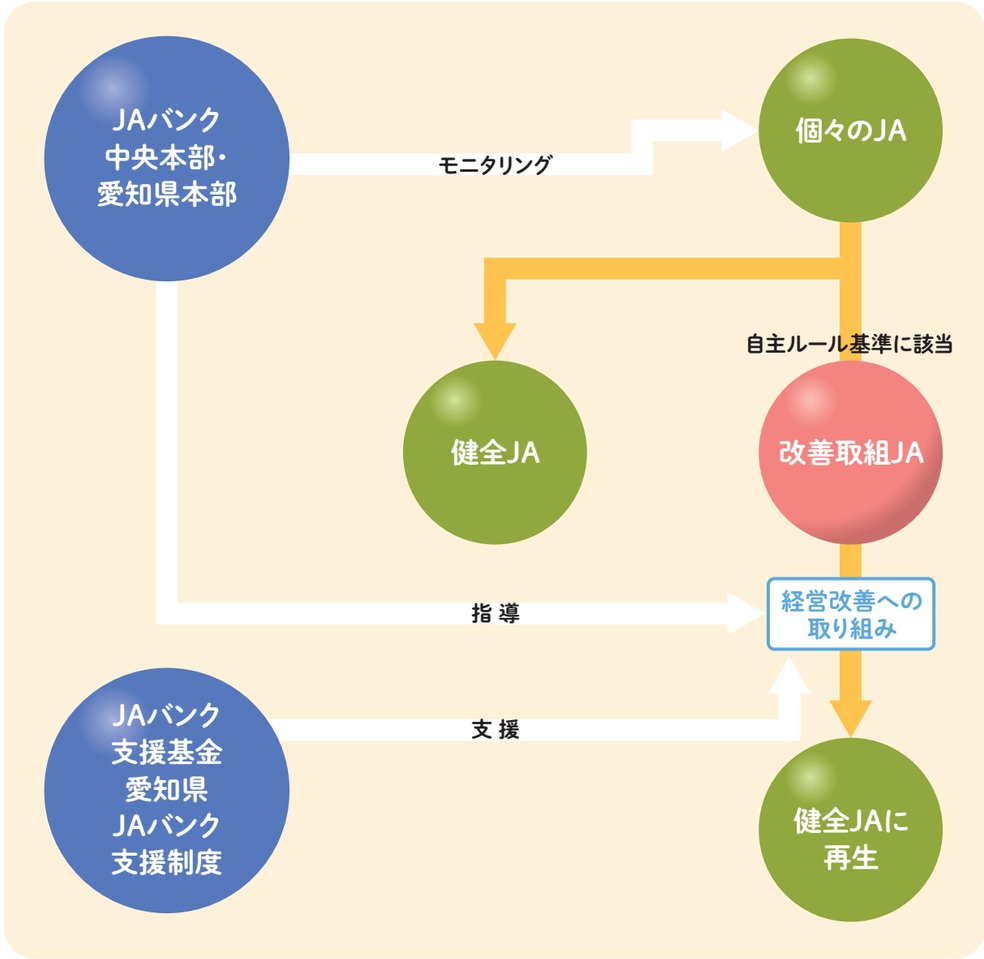
個々のＪＡの財務状況、業務体制などについてチェック（モニタリング）を行い、問題点の早期発見に取組んでいます。モニタリングは、農林中金に設置された「ＪＡバンク中央本部」と信連に設置された「ＪＡバンク愛知県本部」が行います。

ポイント２
経営改善への取組み

モニタリングの結果「自主ルール基準」に該当するＪＡは、この状況に応じた一定の資金運用制限を行いつつ、経営改善への取組みを行います。ＪＡバンク中央本部・愛知県本部は、関係団体と連携しその取組みを強力にサポートします。

ポイント３
資金面による強力なサポート

「自主ルール基準」に基づき経営改善への取組みを行うＪＡには、全国制度の「ＪＡバンク支援基金」やＪＡバンクあいち独自の制度である「愛知県ＪＡバンク支援制度」が、必要に応じて資金面でのサポート(資本注入や資金援助など)を行います。



ＪＡ共済について

ＪＡ共済とは、
農業協同組合の原点である、お互いに助け合う精神「相互扶助」を形にしたものです。
「ひと・いえ・くるま」の総合保障で、みんなの暮らしを守っています。

ひと

JAの生命共済は、死亡保障はもちろん、入院・手術などに備える医療保障や年金保障にも力をいれています。

- 「医療共済」は、日帰り入院を含め、入院一日目からまとまった一時金が受け取れ、入院費用はもちろん、通院・在宅医療などのさまざまな費用に活用できます。また、ご希望に合わせて一生涯保障や先進医療保障、手術・放射線治療保障、健康を維持した場合の健康祝金など、ライフプランに合わせて自由に設計できる充実した医療保障を提供します。
- 万一の場合、一時金だけでなくご家族の生活資金としての年金をお受け取りになれる「生活保障特約」で保障がさらに充実します。
- 三大疾病をはじめとした重い生活習慣病に備えられる保障「特定重度疾病共済」を提供します。
- 病気や災害などで所定の状態になられたときは、共済掛金払込免除制度により、その後の共済掛金をいただくことなく、ご契約を継続します。

いえ

JAの建物更生共済は、火災・地震・台風などのさまざまなリスクに対応し、幅広い保障でマイホームや家財をしっかり守ります。

- 火災はもちろんのこと、地震・台風・豪雨による洪水などさまざまな自然災害による損害を幅広く保障します。
- 掛け捨てではないため、満期時には満期共済金と割戻金がお受け取りになれます。また、定期的に修理費共済金がお受け取りになれるプランもあります。
- 平成29年度の仕組改訂によりさらにグレードアップしました。
  ①満期共済金額は、火災共済金額の同額から、30分の1までの範囲で自由に設定いただけます。（※別に定める契約単位の最低限度額があります。）
  ②加入額を限度に損害額を保障する「実損てん補方式」を導入します。（※所定の条件があります。また、地震などによる損害を除きます。）

くるま

JAの自動車共済は、ご自身の家族の保障・相手方への保障・ご自身のお車の保障といった安心の充実保障で自動車事故のリスクを幅広く保障します。

- 「クルマスター」は、３つの保障で自動車事故のリスクを幅広くカバーします。
  ・ご自身とご家族の保障
  ・相手方への保障
  ・お車の保障
- 24時間・365日、フリーダイヤルで事故受付やアドバイスを行うほか、「レッカーサービス100㎞まで」「ロードサービス」も24時間体制で実施しています。お車のトラブル時にJA共済アプリをご利用すれば、受付窓口へのスムーズな事故受付やレッカー・ロードサービスの要請が連絡できます。
- 共済掛金がさらにお得になる「掛金割引」があります。
  ・割増・割引等級制度
  ・自賠責共済セット割引
  ・ゴールド免許割引
  ・ＡＳＶ割引（ＡＥＢ装備車）
  ・新車割引
  ・複数契約割引
  ・長期優良契約割引
  ・自動継続割引
  ・福祉自動車割引
  ・農業用貨物車割引

※第1回共済掛金からキャッシュレス（口座振替等）での払込ができます。
※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご確認ください。 [21234925219]

安心・安全 JA共済 1 ひと・いえ・くるま、大きく広がった保障の輪

ＪＡ共済は総合保障を提供しています。

生命総合共済（保有）
加入件数●2,192万件
保障金額●97兆1,607億円

建物更生共済（保有）
加入件数●966万件
保障金額●141兆5,833億円

自動車共済（保有）
加入件数●826万件
自賠責共済（保有）
加入台数●657万台

安心・安全 JA共済 2 ＪＡ共済のリスク対応力

通常の予測を超えて発生する諸リスクに対応するための支払余力は、十分な水準となっています。

支払余力（ソルベンシー・マージン）比率（令和２年度末）

健全経営の水準	ＪＡ共済の実力
200.0%	1,276.9%

※支払余力（ソルベンシー・マージン）比率とは、通常の予測を超えて発生する諸リスク（大規模自然災害など）に対応するため、どのくらいの支払余力を備えているかを判断するための経営指標のひとつです。なお、JA共済では生命共済事業と損害共済事業の両方を実施しているため、生命保険会社または損害保険会社のソルベンシー・マージン比率と単純に比較はできません。

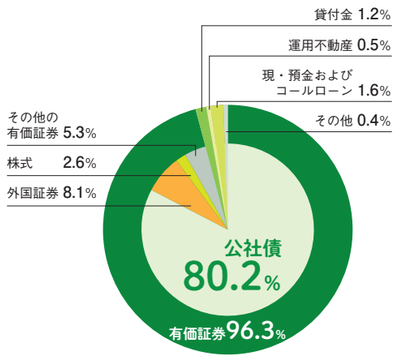
支払余力（ソルベンシー・マージン）比率計算式

$$\text{支払余力（ソルベンシー・マージン）比率} = \frac{\text{支払余力（ソルベンシー・マージン）総額}}{\text{リスクの合計額} \times \frac{1}{2}} \times 100$$

安心・安全 JA共済 3 ＪＡ共済の資産状況

総資産のうち、56兆円以上の運用資産について、安定的な収益を確保できる国債などの公社債を中心に、安全・確実な運用を行っています。

総資産
58兆363億円



運用資産 ● 56兆1,484億円

安心・安全 JA共済 4 お役に立った共済金

万一のときや満期のときなどに共済金をお支払いし、みなさまにお役立ていただいています。

令和２年度のお支払い合計
3兆8,804億円

生命総合共済
万一のお支払い ● 5,588億円
満期時のお支払い ● 1兆4,604億円

建物更生共済
万一のお支払い ● 1,866億円
満期時のお支払い ● 1兆4,071億円

自動車共済
1,662億円

自賠責共済
304億円

安心・安全 JA共済 5 新型コロナウイルス感染症に関する主な取り組み

●ご契約に関する特別な取り扱い
新型コロナウイルス感染症により影響を受けられたご契約者さまに対して、共済掛金の払込猶予期間の延長等、特別な取り扱いを実施しています。

●共済金に関する特別な取り扱い※
新型コロナウイルス感染症治療にかかる入院は保障の対象となります。また、医療機関等の事情により、宿泊施設や自宅等で治養する場合も、医師等の証明書をご提出いただくことで入院保障の対象とする等、特別な取り扱いを実施しています。

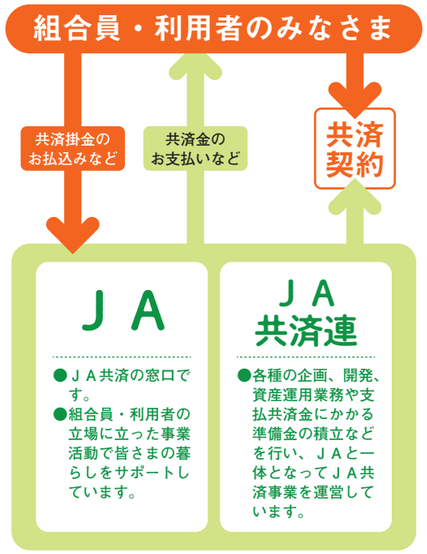
●３Ｑコール活動の展開
新型コロナウイルス禍であっても、組合員・利用者の皆さまに確かな安心をお届けするため、電話にてご契約内容の確認や生活の変化などを伺う３Ｑコール活動に積極的に取り組んでいます。

●感染拡大防止に関する取り組み
新型コロナウイルス感染拡大の影響により医療機関等で衛生資材が不足している状況を踏まえ、医療機関や介護施設にマスクやフェイスシールド等を寄贈しました。

※今後の政令改正等により当取り扱いを変更する場合があります。

安心・安全 JA共済 6 ＪＡ共済の役割

ＪＡ共済はＪＡとＪＡ共済連がそれぞれ機能を分担し、組合員・利用者のみなさまに「ひと・いえ・くるま」の総合保障を提供しています。



※共済契約は、ＪＡとＪＡ共済連が共同でお引き受けしています。

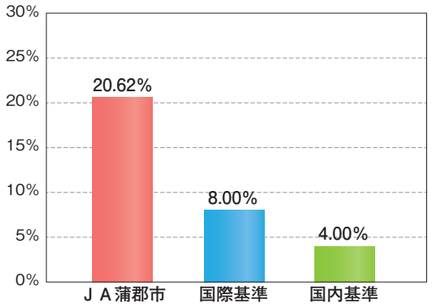
記載の内容は全国共済農業協同組合連合会資料（安心めっせーじ）より抜粋

ＪＡ蒲郡市の健全性

高い自己資本比率や不良債権が少ないことなどの理由から、
経営の健全性の高さが分かります。

◉自己資本比率

自己資本比率は、リスクのある資産（エクスポージャー）に対する自己資本の割合を表すもので、経営の健全性の客観的な指標とされています。自己資本比率が一定の基準に達しない金融機関に対しては、経営改善や業務停止命令の発令が行われます。金融業務を行う場合、国内基準では４％以上、国際基準では８％以上が求められていますが、当ＪＡは基準を大きく上回る20.62%となっています。



リスクアセットとは？

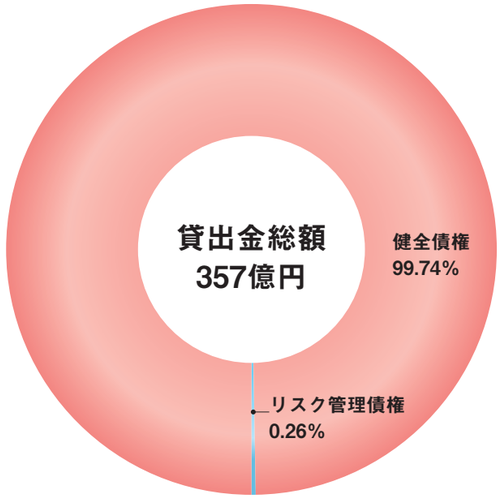
自己資本比率を計算する上での分母となる「リスクアセット」とは、損失の発生する可能性のある資産のことです。資産ごと（エクスポージャー）に、損失が発生する危険度に応じた掛目（リスクウェイト０％～1,250％）を掛けて、それを合計した額です。

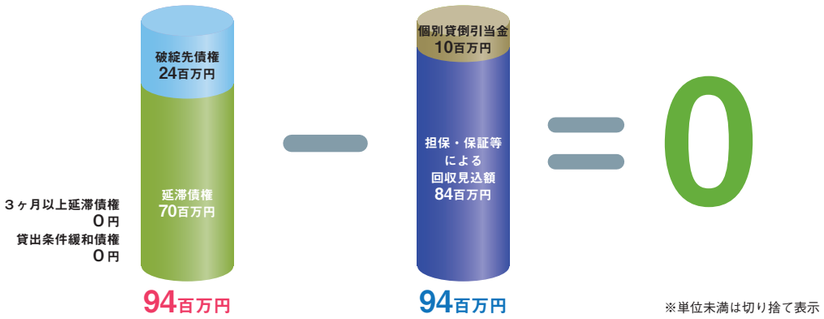
オペレーショナル・リスクとは？

オペレーショナル・リスクとは、事務手続上の事故や不正行為等により損失を被る可能性のことです。信用リスクと市場リスク以外の全てのリスクの総称で、事務リスク、システムリスク、法務リスク、経営管理上のリスク、流動性リスク、災害リスクなどを含む幅広いリスクを意味します。具体的数値は、「事業総利益に加算・減算して得た粗利益×15%」の過去３年の平均値を適用しています。

◉リスク管理債権の保全状況

リスク管理債権のほとんどは、担保・保証等により回収が見込まれており、残りについても確実に引当金処理を行っています。よって、カバー体制は万全で安心です。なお、当ＪＡの貸出金総額に占めるリスク管理債権の割合は0.26%と、リスク管理債権自体も低い値になっています。





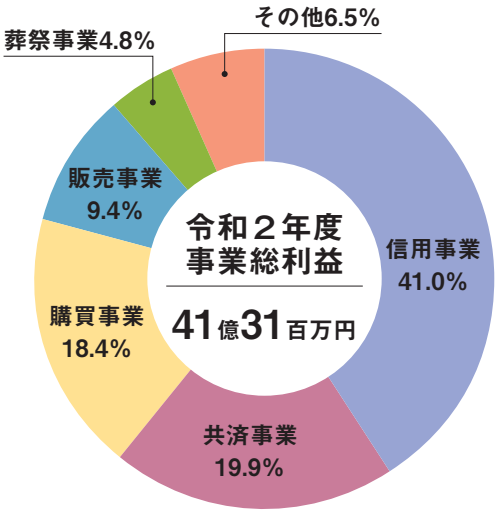
※単位未満は切り捨て表示

◉リスク管理債権の種類

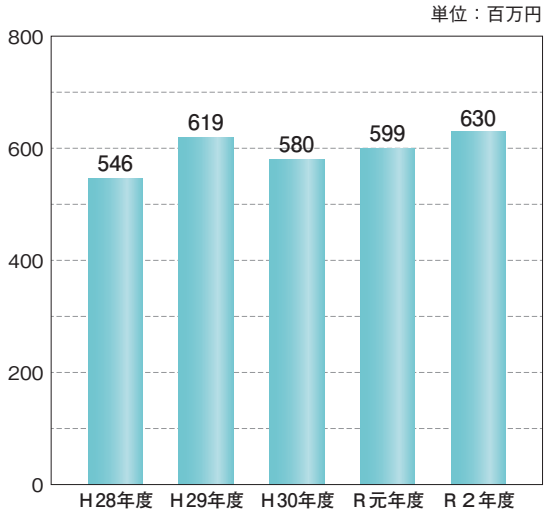
リスク管理債権種類	内容
破綻先債権	元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していること、その他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金（貸倒償却を行った部分を除く。以下、「未収利息不計上貸出金」という。）のうち、法人税法施行令（昭和40年政令第97号）の第96条第１項第３号のイからホまでに掲げる事由又は同項第４号に規定する事由が生じている貸出金です。
延滞債権	未収利息不計上貸出金があって、破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援をはかることを目的として利息の支払を猶予したもの以外の貸出金です。
３ヵ月以上延滞債権	元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から３ヵ月以上遅延している貸出金です。 ※上記、破綻先債権、延滞債権を除く。
貸出条件緩和債権	債務者の経営再建又は支援をはかることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金です。 ※上記、破綻先債権、延滞債権、３ヵ月以上延滞債権を除く。

ＪＡ蒲郡市の業績

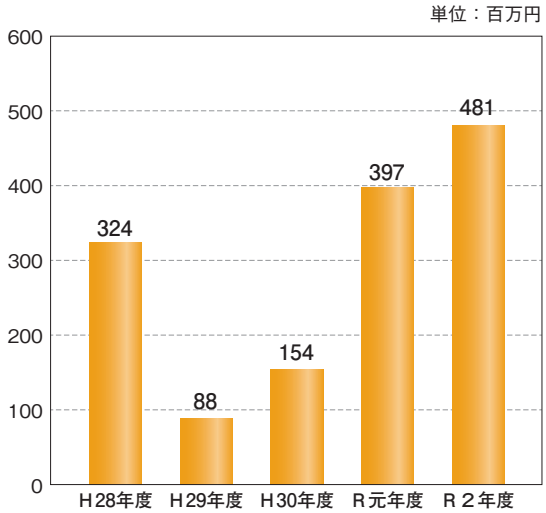
◉事業総利益の内訳



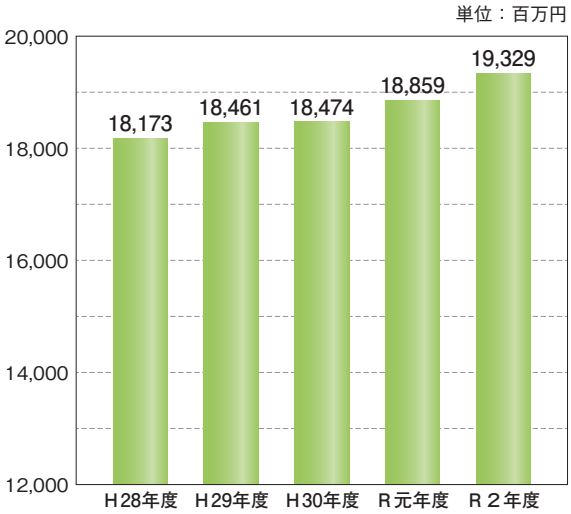
◉経常利益の推移



◉当期剰余金の推移



◉自己資本額の推移



※「単体自己資本比率」は、「農業協同組合等がその健全性を判断するための基準」（平成18年金融庁・農水省告示第２号）に基づき算出しております。